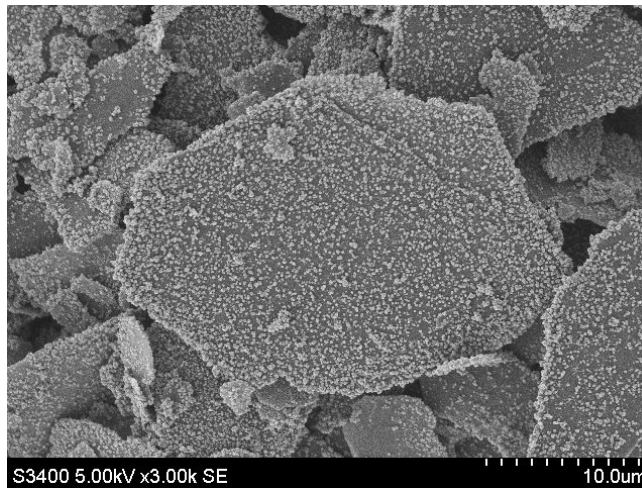


# 2021 年度 CSR レポート

対象期間:2021 年 4 月～2022 年 3 月

7



新規開発品 **ADMOLITE** (登録商標 6393734)  
IM-25BLACK (酸化鉄被覆マイカ、平均 25  $\mu$ m、黒)



株式会社ヤマグチマイカ

2022 年 5 月 24 日  
CSR 委員会作成

## 1. トップメッセージ

2021 年度には、当社にとって大きなチャレンジがありました。それは Responsible Minerals Initiative (RMI: 責任ある鉱物イニシアチブ) に登録し、マイカ加工業者としては世界で初めて RMAP (Responsible Minerals Assurance Process: 責任ある鉱物保証プロセス) 監査を受審したことです。マイカの採掘、加工に関わるサプライチェーンにおける人権デューデリジエンスについて、当社は以前から CSR 経営の主要課題として取り組んで参りましたが、RMI によってマイカが調査対象鉱物に追加指定されたことにより、RMAP 監査に適合することはマイカ加工業者のビジネス継続のため必須になると考えております。

RMAP 監査は、人権だけでなく ESG 分野も含む内容であり、厳しいご指摘やアドバイスを当社は頂戴しました。今後、当社の CSR 経営を更に改善し、しっかりとしたマネジメントシステムを構築するための良いきっかけになったと思います。またサプライチェーンの皆様へ事業活動に要求される事項を伝え、必要に応じて改善を促すことも当社の役割であると改めて認識しました。

さて、2019 年末から世界中に広がった新型コロナウイルスによる感染症は、2 年を経過して未だに完全に収束していません。また 2022 年 2 月には、ロシアが武力による主権と領土の現状変更を目的にウクライナへの侵攻を開始し、この戦争は長期化の様相を呈しています。このような世界情勢は、景気後退、物価高、円安など市場経済へ大きく影響を与え、当然ながら当社も厳しい状況に置かれております。

しかし我々は明るい未来に向けて、自らの信念を持って歩み続けなければなりません。決して順調とは言えませんが、当社は CSR 活動を一步一步、着実に進めており、その成果、状況および今後の取り組みを「2021 年度 CSR レポート」として、ここに報告申し上げます。

最後に皆様の平和と健康をお祈り申し上げ、トップメッセージの結びとさせていただきます。

株式会社ヤマグチマイカ 代表取締役

山口卓己



## 2. 経営理念、品質方針、環境方針、責任ある鉱物調達方針

ヤマグチマイカは、会社の存在意義の根本である『経営理念』を掲げ、その下に「品質方針」、「環境方針」を定めています。更に2021年度には「責任ある鉱物調達方針」を追加しました。

これらの理念と方針は、当社の事業計画の策定、目標設定の考え方の拠りどころとなり、具体的な活動に落とし込まれます。そして経営トップ、各部署、各従業員のベクトルを合わせ、社会の繁栄と発展、持続可能な社会の実現に取り組みます。

### 経営理念

1. ヤマグチマイカはマイカを主体とした粉体の製造販売を通じて、  
社会の繁栄と発展に貢献する
2. その活動において、社会の規律を遵守し、  
人権尊重、地球環境保全に努め、社会の模範となる
3. 会社の発展と共に顧客、業者、社員の相互繁栄を目指す

### 品質方針

- (1) 常に変化するユーザーニーズに合った商品をアピールし提供する
- (2) ユーザーに「信頼」と「感動」を与えられる独自商品を開発する
- (3) ユーザーが求める品質、価格、納期、サービスを提供できる体制に改善し続ける

### 環境方針

- (1) 環境関連の法規制、協定、当社が同意するその他要求事項  
及び当社の自主規制を遵守する
- (2) 当社の企業活動が環境に与える影響を考え、  
環境への負荷低減を図り、地球環境保全に努める
- (3) 目的、目標、計画を定めて、規制対応や環境汚染防止、  
省エネルギー、省資源、リサイクルなどを継続的に推進する

### 責任ある鉱物調達方針

- (1) ヤマグチマイカは、持続可能かつ責任あるサプライチェーンの実現を目指し、  
サプライチェーンの皆様とともに責任ある鉱物調達の取り組みを進める
- (2) 鉱物調達によって紛争や児童労働、強制労働などの人権侵害を助長することの  
無いよう、当社を含めたサプライチェーンにおけるデューデリジエンスを実施し、  
リスクを確認する
- (3) サプライチェーンの皆様へ、当社の鉱物調達の考え方にご理解とご協力を  
いただくよう促すとともに、万一リスクが見つかった場合には是正処置を行う

### 3. 会社概要

会社名	株式会社ヤマグチマイカ
所在地	本社： 愛知県豊川市 豊橋工場： 愛知県豊橋市 新城工場： 愛知県新城市 (協力工場： インド アンドラプラデシュ州)
創業(設立)	1951年4月(法人設立1960年8月)
資本金	4,760万円
年商	12.0億円(2021年9月決算実績)
業種分類	窯業・土石製品製造業
事業内容	マイカその他無機鉱物の粉体製造、および粉体加工処理
生産品目	湿式粉碎マイカパウダー、乾式粉碎マイカパウダー、 湿式粉碎タルクパウダー、フोटクロミック顔料、 各種粉体処理(表面処理、熱処理、マイカ造粒など)
従業員数	68名(うち派遣社員3名、2022年4月)
生産量	湿式粉碎:2,500t/年、乾式粉碎:1,000t/年
主な販売市場	プラスチック、化粧品、塗料、ゴム、陶器

本社(1954年、旧 小坂井町)



本社(現在、豊川市)  
敷地面積: 約 5,000 m<sup>2</sup>



豊橋工場  
敷地面積: 約 5,000 m<sup>2</sup>



新城工場  
敷地面積: 約 27,000 m<sup>2</sup>

#### 4. 沿革

1951	愛知県豊橋市で創業、マイカパウダーの生産を開始
1954	愛知県宝飯郡小坂井町(現在の豊川市)に移転
1960	「株式会社山口雲母工業所」設立
1978	化粧品向けに採用(製品の品質向上、多品種生産が進む)
1988	豊橋工場新設
2003	豊橋第二工場新設(2019年に閉鎖し、新城工場へ移設)
2004	ISO9001 認証取得(LRQA、2017年に2015版に更新)
2005	インド協力工場にて湿式粉碎品の生産開始
2009	インド協力工場にて乾式粉碎品の生産開始
2010	「株式会社ヤマグチマイカ」に社名変更
2016	CSR 経営宣言(CSR 委員会設置)、国連グローバルコンパクト加盟
2018	新城工場新設、生産開始
2020	BCP 委員会設置、中小企業庁「事業継続力強化計画」の企業認定取得
2021	Responsible Minerals Initiative のマイカ加工業者リストに登録

#### 5. CSRに関わる当社の所属団体

##### 国連グローバルコンパクト



Sedex



ACE



##### Responsible Mica Initiative



EcoVadis



## 6. CSR 取り組み

ヤマグチマイカは、以下に示す国連グローバル・コンパクトの4分野10原則に賛同します。

人権	原則1 企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、 原則2 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
労働	原則3 企業は、組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、 原則4 あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、 原則5 児童労働の実効的な廃止を支持し、 原則6 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
環境	原則7 企業は環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、 原則8 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、 原則9 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
腐敗防止	原則10 企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

ヤマグチマイカは、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けて、企業活動において具体的な取り組みを考え、実行します。



## 6-1 企業統治

### 【2021 年度実績】

#### ■ CSR 委員会活動

- ・CSRと事業活動を関連付けして具体的な社内業務に落とし込むため、隔月で CSR 委員会を開催し、以下の内容について議論し進捗管理を行った。  
「原料調達」、「環境」、「安全衛生」、「BCP」、「働きがい」、「心と体のケア」、「市場や顧客の CSR 要求」、「機密情報管理」など
- ・CSR 委員会メンバーは以下の通り。  
代表取締役、CSR 担当取締役 (CSR 委員長、兼 BCP 委員長)、営業技術担当次長、総務経理課長、購買課長、安全衛生委員長

#### ■ 安全衛生委員会活動

- ・担当役員、各職場代表が参加する委員会を毎月開催し、職場の安全衛生の状況確認、職場環境の改善提案および具体的な改善活動を推進した。

#### ■ BCP 委員会活動

- ・担当役員、各職場代表が参加する委員会を隔月で開催し、BCP に関わる社内体制構築を図るとともに、災害発生に備えた訓練などの企画運営を行った。

#### ■ CSR マネージメントシステムの強化

- ・CSR プラットフォーム EcoVadis の CSR 自主評価を実施し、2021 年 4 月にシルバーメダルを受領した。
- ・2021 年 12 月に Responsible Minerals Initiative へ当社 3 工場をマイカ加工業者として登録し 2022 年 1 月～2 月に RMAP (Responsible Minerals Assurance Process) 監査を受審した。
- ・2022 年 1 月、「責任ある鉱物調達方針」を制定した。

#### ■ 当社経営の透明性への取り組み

- ・社内外に向けて 2021 年 6 月に「2020 年度 CSR レポート」を公開した。
- ・当社ホームページへ、CSR レポートおよび CSR に関する活動を随時掲載し情報発信した。
- ・会社方針発表会、職制会議により、CSR を含む企業活動について従業員へ周知徹底を図った。

### 【2022 年度予定】

- CSR 委員会活動の継続。
- 安全衛生委員会活動の継続。
- BCP 委員会活動の継続。
- RMAP 監査に対する是正措置として、CSR マネージメントシステムを再構築する。
- 当社経営の透明化への取り組みを継続する。



## 6-2 人権

### 【2021 年度実績】

- 新型コロナウイルスの影響で約 2 年延期されていたが、インドの原料サプライヤー 1 社の鉱山および加工工場の監査 (CSR プラットフォーム Sedex による SMETA 監査フォームを用いた) が

2022年3月に完了し、児童労働のないことを証明した。

- インドのマイカ採掘地域の児童労働撲滅を目指す国際 NGO「Responsible Mica Initiative」への勧誘を継続し、当社が取り引きするインド北東部地域のサプライヤー全社の加盟が完了した。2021年の当 NGO の主な活動は、監査フォームの作成、トレーサビリティプラットフォームの開発と運用開始、マイカ採掘地域での人権教育などであった。
- 責任ある鉱物調達を管理する団体「Responsible Minerals Initiative」が、児童労働など人権問題のリスクがあるためにマイカを対象鉱物に指定し、マイカ加工業者をリスト化するとともに、新たな調査 EMRT (Extended Minerals Reporting Template) の運用を開始した。当社は率先して自社をリスト登録し、マイカ加工業者として世界で初めて当団体の監査 (RMAP 監査) を受審した。また、サプライヤーに対してもリスト登録して、監査を受審するよう促した。

#### 【2022 年度予定】

- 当社サプライヤーに対して、マイカ鉱山および加工工場の非児童労働の当社書面調査を更新する。
- 「Responsible Mica Initiative」、「Responsible Minerals Initiative」の活動に賛同および協力し、当社サプライヤーとともに該当地域の児童労働撲滅を推進する。
- 新型コロナウイルスが収束後、インドのサプライヤーに対して当社による監査を実施する。



### 6-3 労働慣行

#### 【2021 年度実績】

- 「働きがいの向上」のために導入した人事評価制度および昇給昇格制度の運用フォローのため、4月、10月に総務責任者による考課者訓練、被考課者訓練を実施して、制度の理解を深めた。
- 前年度に引き続き安全衛生委員会にて、「作業の安全管理」、「製造現場の暑さ、寒さ対策」、「製造現場の腰痛対策」などを討議し、改善を推進した。
- 安全衛生委員による安全パトロール(事故防止)に加えて、本年度は全役員による各工場の BCP パトロール(地震対策)、安全パトロール(事故防止)を実施し、対策や改善が必要な箇所について労使で認識を共有し対応を図った。
- 2021年9月、全従業員に対して外部機関によるオンラインのストレスチェックを実施し、外部機関から個別にフィードバックがなされた。
- 2021年10月、全従業員に対して総務課によるハラスメントアンケートを実施し、11月に集計結果と社内状況を総務責任者が報告し、従業員に向けて問題点の是正を促した。
- 役員と労働者代表の労使懇談会を定期的実施し、労働条件や規程について意見交換した。従業員が働きやすい環境作りの一環として、2021年11月に看護・介護のための休暇制度の周知を行った。2022年3月には、休曜日数増、時間単位取得可など更に取得しやすいよう改定した。

#### 【2022 年度予定】

- フィジカル、メンタルの両面で、働きやすい環境作りと社内制度作りを推進する。
- 性別を問わず全従業員が活躍できる職場作りを推進する。
- ストレスチェック、ハラスメントアンケートを定期的実施し、問題の早期発見と処置を促す。
- 人材育成のための教育システムを新たに検討する。





## 6-4 環境

### 【2021 年度実績】

- 過去 4 決算期分の電気・ガス使用による CO2 排出量を把握し、63 期(2021 年 10 月-2022 年 9 月)の目標数値を、生産 kg あたり CO2 排出量 0.427kg に設定した。

決算期	59 期	60 期	61 期	62 期	63 期 (目標)
CO2 排出量(t)	1,398	1,277	1,083	1,167	1,280
生産数量(t)	3,316	3,119	2,435	2,695	3,000
生産 kg あたりの CO2 排出量(kg)	0.422	0.409	0.445	0.433	<b>0.427</b>

- 「電気・ガス・水道の使用量削減」、「廃棄物削減」を改善提案の重点テーマに位置づけ、アイデア出し、改善実施に取り組んでいる。改善の効果は、決算期である 63 期(2021 年 10 月-2022 年 9 月)で確認する。

### 【2022 年度予定】

- 決算期の 63 期(2021 年 10 月-2022 年 9 月)の生産 kg あたり CO2 排出量の目標達成に向け、電気・ガスのエネルギー削減のアイデア出し、改善実施に取り組む。
- 「電気・ガス・水道の使用量削減」、「廃棄物削減」の改善効果を、決算期の 63 期(2021 年 10 月-2022 年 9 月)で数値化して確認する。



## 6-5 公正な事業慣行

### 【2021 年度実績】

- 「機密情報管理規程」を制定し、2021 年 10 月より施行した。印刷した文書、電子ファイルなどを機密レベルによって区分し、管理体制、管理方法を定め、会社が保有する機密情報を適正に管理するルールを明確にした。
- 役員を含む従業員等による法令違反行為、倫理上問題のある行為、規程違反等の行為や、それらと疑われる行為があった場合、その早期発見と是正、解決を図るための「内部通報規程」の運用を継続した。
- 人事評価に基づき女性管理職を新規登用し、当社のジェンダー平等を示すことができた。

### 【2022 年度予定】

- 社内でコンプライアンスに関する教育を計画的に実施する仕組みを作る。
- 取引先管理に関するシステムを全般に見直し、人権と ESG を含む当社の行動規範について、当社サプライヤー、外注先、その他の取引先での理解と同意確認を進める。



## 6-6 消費者課題

### 【2021 年度実績】

#### ■ 新製品開発

- ・金属酸化物被覆粉体「ADMOLITE」(登録商標 6393734)が化粧品向けに採用され、販売開始。
- ・海洋汚染の一因とされている化粧品用マイクロプラスチックビーズの代替材料として開発した球状シリカ表面処理品「PSG-05WA5」を顧客へ提案し、数社で評価中。

#### ■ インドのマイカ原料調達

- ・新型コロナウイルスの影響により、2021 年度前半は計画通りに調達できなかったが、後半から改善されてきた。インドのマイカ原料調達に関する当社 3 年計画「2019-2022 原料調達方針」の 2022 年の最終目標は達成できる見込み。
- ・人権デューデリジェンスに関する内容は、前項までに記載の通り。

#### ■ 安全性や環境に関わる法令、規制などへの対応

- ・中国国家薬品监督管理局(NMPA)への化粧品原料登録に関する情報収集および一部の製品の登録を実施した。
- ・中国の化粧品安全技術規範(2015 年版)に関する情報収集および化粧品向け製品の必要に応じた規格改定を実施した。

### 【2022 年度予定】

- 粉体加工を中心とした、顧客ニーズを満たす新製品開発を継続する。
- インドのマイカ原料調達で要求される人権デューデリジェンスを継続し、当社の「2019-2022 原料調達方針」の目標を達成する。
- 安全性や環境に関わる法令、規制などの新たな施行や改定に対し、速やかな情報収集と対応を継続する。



## 6-7 コミュニティ参画・開発

### 【2021 年度実績】

#### ■ 人権と ESG に関わる団体

- ・責任ある鉱物調達を管理する団体「Responsible Minerals Initiative」にマイカ加工業者として申請し、リストに登録された。
- ・国連グローバル・コンパクト、NGO「Responsible Mica Initiative」の加盟を継続し、各団体から要求される情報を随時提供した。
- ・NGO「ACE」の加盟を継続し、交流を継続。2021 年 7 月には「児童労働撤廃国際年の今こそ! ACE SDG プロジェクト 2021」を支援する寄付を行った。

#### ■ CSR プラットフォーム

- ・「Sedex」、「EcoVadis」の登録を継続し、年次の自己監査を実施した。また情報は各プラットフォームで開示している。

#### ■ 学術団体、産業団体

- ・「日本化粧品技術者会」、「化粧品原料協会」、「フィラー研究会」、「食品接触材料安全センター(ポリオレフィン等衛生協議会の承継機関)」への参加を継続。
- ・内閣府「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」に入会した。

#### ■ 社会貢献活動

- ・「愛知県プラスチックリサイクル協同組合」の愛キャップ委員会の活動に賛同し、ペットボトルのキャップ回収を実施した。2021 年 11 月に当社が寄付したキャップ 4,042 ケで世界の子ども用ワクチン約 5 人分になるとのこと。
- ・2021 年 10 月、新城市立八名中学校の総合学習に協力し、新城工場にて会社案内を実施した。

## 【2022 年度予定】

- CSRに関わる各種団体、地域社会、産業・学術団体への参加を継続し、活動に貢献する。
- CSRプラットフォームやホームページでCSR情報や事業活動の開示を継続し、対外的に当社に関する理解を促す。



## 7. 当社の CSR 情報について

ヤマグチマイカは、CSRレポートを毎年更新して、当社ウェブサイトで公開します。  
また、当レポートに関するご質問やご指摘がありましたら、下記担当者までご連絡ください。

部署	株式会社ヤマグチマイカ 企画部
担当者	CSR 担当 伊藤または西田
メールアドレス	csr@ymsc.co.jp
TEL	0533-72-2188
FAX	0533-72-5157